

透析患者における pregabalin（リリカ）の除痛効果と安全性

長崎腎病院

○江藤りか、矢野未来、小嶺真邪、宮崎健一、李 嘉明、原田孝司、船越 哲

【目的】

透析患者の各種疼痛に対する pregabalin の効果と安全性を調査する。

【対象・方法】

外来維持血液透析中で、従来の治療では効果不十分と訴える 16 名（男性 10 名・女性 6 名、糖尿病 11 名・非糖尿病 5 名）に対し、追加で pregabalin を 25-50mg 連日で投与し、VAS スケールで痛みの変化を測定した。

【結果】

痛みの内訳は、関節痛や坐骨神経痛など整形外科的疼痛 8 例、糖尿病性神経症と思われる四肢の疼痛 6 例、帯状疱疹後遺症痛 2 例であった。投与 1 カ月の時点で 16 例中 9 例に VAS スケールにおいて 50%以上の疼痛軽減が得られ、糖尿病性神経症の疼痛では 6 例中 5 例に効果が得られた。また、投与後の浮腫や体重増加などはみられなかった。

【考案】

25-50mg の pregabalin は血液患者で安全に投与可能であった。また、今回糖尿病性神経症の疼痛に対し著効したことより、今後の同薬剤の適応が期待される。